

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

RPPC に関連する発表は、特にございません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

特にございません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 羽田空港等地盤改良不良問題で修補対策工法議論始まる
2. 埋立浚渫協会、28 年度の地整局等と意見交換会開始
3. 島根県、浜田港の次期港湾改訂計画に向けた取組本格化

＝＝

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 羽田空港等地盤改良不良問題で修補対策工法議論始まる

今年 8 月の国土交通省「地盤改良工事の施工不良等の問題に関する有識者委員会」の報告（中間）に基づき、3 空港の地盤改良修補に向けた検討が始まった。9 月 28 日に四国地方整備局が松山空港、29 日には関東地方整備局が羽田空港を対象とする修補委員会（第 1 回）をそれぞれ開催した。福岡空港についても近日中に開催になる予定。

29 日に開かれた関東地方整備局主催の羽田空港における地盤改良修補検討委員会では、委員長に選任された善巧企九州大学大学院教授が「一度改良対策として人手が入った地盤がどのようになっているのか、おそらく前代未聞の地盤状況になっていると思う。その点で非常に難しく、加えて羽田空港は実際に工事が出来る時間が制限されるという制約もある。委員の方々の助言や御提案を頂きながら修補工法の選定を検討して参りたい」と挨拶した。

当日は①修補全体のスケジュール、②修補のための検討方針や課題などについて議論。今後、関東地整が対象地盤の性状把握や試験施工実施に向けての検討を行い、12 月にも開催予定の次回委員会にその実施内容を諮ってその後の試験実施へと進めていく方針。

【港湾空港タイムス】

2. 埋立浚渫協会、28 年度の地整局等と意見交換会開始

日本埋立浚渫協会は、「平成 28 年度地方整備局等との意見交換会」を 9 月 29 日、中部地方整備局港湾空港部との間で開いた。11 月末まで全国 10 地区で順次開催する。

今年度の意見交換のテーマは、『生産性向上への取組と新技術の導入』（技術委員会）、『港湾空港建設事業の魅力向上』（施工委員会）、『適正利潤の確保』（契約委員会）で、それぞれの地域特性も含めて要望し、意見を交換する。

このうち『生産性向上への取組と新技術の導入』では、①港湾・空港工事における施工技術のICT化、プレキャスト化の標準工法の採用として、▽浚渫等の水中施工の出来高管理に用いるナローマルチや海中ソナー施工技術、▽位置情報把握による航行安全、▽潜水作業、▽栈橋上部工のプレキャスト化、などを挙げている。

また②新技術の評価と現地実証試験の実施では、現地実証試験を通じて技術評価を行って実際の工事での適用を要望するもので、▽リプレイサブル栈橋、▽重力式岸壁の増深、▽液状化対策、▽リサイクル技術など。

【港湾空港タイムス】

3. 島根県、浜田港の次期港湾改訂計画に向けた取組本格化

島根県は浜田港の次期港湾改訂計画に向けた取組を本格化させている。今年8月末に開催した第3回浜田港長期構想検討委員会（委員長・中尾成邦港湾空港総合技術センター理事長）において、長期構想案をとりまとめており、今秋中に構想を策定し、改訂計画に向けた作業に入る。

福井地区と長浜地区に水深14m級の新たな大水深岸壁を検討しているほか、福井地区と長浜地区を有機的に結ぶ臨港道路などを打ち出す方針。来年5月頃の地方港湾審議会、7月の国の交通政策審議会港湾分科会に上程して計画決定していく方針。

【港湾空港タイムス】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）
 木村 竜也 東京都
 梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター
 紫牟田 和隆 光和精鉱(株)
 新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木
URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。